

## 宇都宮市立平石北小学校 第4学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」と回答した児童は80.6%で、市平均を18.7%上回る結果であった。前学年の頃から自主学習に取り組むことが習慣化しており、クラスでも自主学習を奨励していることが結果につながったと思われる。また、「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童は72.2%で、市平均を13.2%上回る結果であった。このことも、児童が家で自主的に学習に取り組んでいることを表していると思われる。

●自主学習への取り組み具合には個人差が見られ、消極的な児童もいる。今後、これまでの自分の取り組みを振り返り、あらたに目標を持たせ、進んで家庭学習に取り組めるよう指導する。また、個別に声をかけ、担任と一緒に課題を考えたり、時には担任から課題を示したりして、家庭学習の習慣づけを行っていく。

●「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい」と回答した児童は55.6%と低い結果であった。市平均を12.2%下回った。このことから、分からないことや疑問に思ったことについて調べることに消極的な児童が少なくないと言える。従って、調べ学習をする際には、図書室で図書や辞書を活用したり、インターネットを使ったりして、多様な手段の中から自分で好きなものを選び、興味をもって調べ活動ができるようにする。また、児童から進んで疑問が出てくるような発問をし、意欲をもって活動に取り組めるよう工夫する。